大津のことが もっと好きになる情報誌

広報 おおづ

7

JULY2020

今月の表紙

今年で最終年を迎えた泥んこ遊びに参加した陣内幼稚園の園児たち。天候にも恵まれ、皆で田んぼにジャンプするなど文字通り泥だらけになって楽しみました。(背表紙参照)

今月のみどころ

暑い夏を乗り切ろう
～「新しい生活様式」における熱中症予防行動～

令和２年度採用試験案内

広報が読めるスマホアプリ マチイロ

Public relations OZU TOWN

広報 おおづ 2020 7

発行・編集■大津町・総務課
〒869-1292 熊本県菊池郡大津町大字大津 1233 番地
TEL.096(293)3111 http://www.town.ozu.kumamoto.jp/

印刷■ホープ印刷株式会社
※広報おおづは環境に配慮して再生紙と植物油インクを使っています。

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

Close-up Ozu-jin

クローズアップ 大津人

山隈さん夫婦のもとには、泥んこ遊びを体験した各園の園児から写真や絵がつづられたお礼の品が毎年贈られています。

「泥だらけで笑顔を見せてくれると やってよかったと心から思います」

山隈 毅（やまぐま こわし）さん 明美（あけみ）さん（岩坂）

毎年5月になると、田んぼに子どもたちの楽しそうな声が響き渡る。22年間続いた「泥んこ遊び」に尽力してくださった山隈さん夫婦をクローズアップする。

今は社会人として活躍するお孫さんが陣内幼稚園に入園したのをきっかけに始めた泥んこ遊びだが、今年で最後にする決断をした。周囲からの存続を願う声と、何より子どもたちの笑顔を見るために、何とか続けたい気持ちはあるが、歳には勝てない。子どもたちの安全性を保つには準備も必要で、軽い気持ちではできない。今年は新型コロナウイルス感染症の影響で開催できるか不安だったが「陣内幼稚園から始まったこの泥んこ遊びを陣内幼稚園で終わらせたかった」という思いで、日程を調整して開催した。子どもが大好きな明美さん。それが伝わるのか、いつの間にかその手は園児に握られ、「おばあちゃん」と呼ばれる。終わった後に園児たちから感謝の言葉が伝えられると、明美さんの目には光るものが。

長い歴史の中で思い出すのは、1人の足が不自由な子ども。手を貸そうとするも、自分の力でやりたいと助けを拒んだ。普段はおとなしいという子の熱心な姿がうれしかった。数年後、小学生になったその子に町内のスーパーで偶然再会すると、わざわざあいさつをしに来てくれた。泥んこ遊びの思い出はしっかりと残されていたのだ。

以前はホンダに勤めていた毅さんは、農機具を何でも乗りこなす明美さんがいてくれたおかげで兼業でも農業を続けてこられたと話す。結婚して53年を迎えるが今まで大きなけんかをしたことがない2人は、お互いを尊敬し合う、まさに理想の夫婦だ。今後は県外転勤中の息子さんが帰ってくるのを心待ちに、夫婦で健康に気遣いながら過ごす。泥んこ遊びは終わりを迎えたが、夫婦が作り上げた思い出は子どもたちの心に残り続ける。

つつじの声

▼自粛期間が続いたせいか、夏が近づいているのに肌は白いままです。6月に泥んこ遊びに参加でき、ようやく日に当たることができました。少しずつ以前の生活に戻ることを願っています。▼暑くなると熱中症の危険性も出てきます。最近はちょっと外を歩くだけで汗が出る気候になりました。皆さんも運動をする際などは無理はせずに、小まめに水分補給をするように気を付けてください（暁）

からいもくん便り

大津町総合情報メール

登録方法：ozutown@gw.ansin-anzen.jp に空メールを送信してください（スマートフォンの場合は件名に任意の1文字［あ］などを入力して送信）。

二次元バーコード

大津町公式アカウント

友だち追加の方法
①LINEの友だち追加の画面から「@ozutown」で検索する。
②次のバーコードを読み込む。

二次元バーコード